

1. 平成 16 年度に実施した砂防関係調査リスト

平成16年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	調査の種別 (平成16年度以前から行っている継続のものも含む)	調査方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
北海道開発局	旭川開発建設部 環境調査	H4～	北海道石狩川上流クマハツ川	平成16年度の調査の種別(平成16年度以前から行っている継続のものも含む) 植物、鳥類、魚類、哺乳類、昆虫類、両生類、は虫類	代表地点を選定し、動物植物調査を実施	事業予定地における動物植物の棲息状況の把握	事業予定地における動物植物の棲息状況の特徴が把握できた	環境に配慮した事業の推進	渓流環境
北海道開発局	旭川開発建設部 土石流発生基準雨量調査	H6～	北海道石狩川上流黒岳沢川	降雨による渓床変動調査	降雨量と土砂流出の関係を調査	降雨量と土砂流出の関係を把握	調査期間中、降雨による土石流の発生があった	土石流警戒避難基準雨量の検討	警戒避難
北海道開発局	旭川開発建設部 土砂管理に関する調査	H7～	北海道石狩川上流黒岳沢川	浮遊砂・掃流砂量調査	出水時における水文、浮遊・掃流砂量調査、流出量調査	流域内の土砂移動量の把握	流砂量と流量との相関を把握できた	流域土砂管理、砂防基本計画の基礎資料	土砂管理
北海道開発局	石狩川開発建設部 豊平川直轄砂防区域水と線の渓流づくり調査業務	H4～	薄別川	薄別川における水生生物および植物の生物相調査	生物調査 物理調査	渓流環境に配慮した砂防事業を進めるための基礎調査	水生生物と植物の生物相の把握	渓流環境に配慮した砂防計画検討の基礎資料	環境砂防
北海道開発局	石狩川開発建設部 穴の川自然環境調査業務	H13～	穴の川	砂防施設設置予定箇所における渓流環境調査	生物調査 物理調査	砂防施設設置による自然環境への影響把握	砂防施設設置前の生物生息状況の把握	渓流環境に配慮した砂防施設検討の基礎資料	環境砂防
北海道開発局	石狩川開発建設部 豊平川新砂防計画検討業務	H12～	豊平川流域	施設配置方針の検討 施設配置計画(案)検討	1次元河床変動計算	実際の土砂移動現象を表現した砂防基本計画の策定	施設配置方針の設定、施設配置計画(案)設定	砂防基本計画の策定	砂防計画
北海道開発局	石狩川開発建設部 豊平川流域渓流環境整備方針検討業務	H14～	豊平川直轄砂防区域	上部における主な砂防施設設置による渓流環境への影響予測	現地踏査	砂防施設整備における渓流環境への影響予測	上流部渓流環境の把握	豊平川の渓流環境整備指し、砂防施設整備計画へ反映	砂防計画 環境砂防
北海道開発局	帯広開発建設部 札内川砂防基本計画検討	H13～H18	札内川 戸鷹別川 岩内川	生産土砂分布、土砂移動実績調査結果を用いた土砂生産・流出解析手法の検討	現地調査 数値解析	土砂移動現象について、その規模と質を把握し、計画シナリオに反映させる必要がある。	土砂生産形態・生産土砂の把握・土砂移動による河道の変化のとりまとめ	新砂防基本計画の策定	新砂防計画
北海道開発局	室蘭開発建設部 樽前山火山緊急対策検討	H15～H16	樽前山直轄区域	平成15年度から継続	他火山の対応事例を収集し、法的課題や用地取得等のあり方を検討した	噴火時の緊急的な対応方法を実施するに当たり事前に法的課題を検討する	噴火時の緊急対策工等実施のための行動計画(案)作成	緊急対策・応急復旧対策を円滑に実施する	緊急対策
北海道開発局	室蘭開発建設部 樽前山火山対策用防災拠点検討	H16～H17	樽前山直轄区域	平成16年度新規	他火山の防災拠点等の事例収集、噴火時に必要な情報検討及び火山の専門家から技術アドバイスを受けた	防災活動を円滑に実施するための防災拠点の機能検討	噴火時の前進基地としての防災拠点に求められる機能を整理した	前進基地としての防災拠点の機能、防災体制の確立	防災拠点
東北地整	新庄河川	H16～	山形県 角川	1. 新砂防基本計画における施設配置計画(案)の検討。 2. 概成判定検討に関する基礎資料整理。	1. 流路工区間に生じるトラフルズポイントに対して、改修案を検討し、一次元河床変動計算により評価。 2. 既往の引継事例を収集・整理し、課題等を抽出。	1. 新砂防基本計画における全体の整備計画(案)立案のため。 2. 国民に対する説明責任を果たすため、概成の考え方について明確化する必要があった。	1. 改修比較(案)(全体整備計画(案))の作成 2. 概成判定に関する課題等の抽出。	砂防事業の推進。砂防事業(計画)の概成判定。	新砂防計画 概成判定

平成16年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	調査の種別 (平成16年度以前から行っている継続のものも含む)	調査方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
東北地整	新庄河川 肘折カルテラ縁辺部地すべり等総合検討業務	H16～	山形県黒瀬地区豊牧地区平根地区	肘折カルテラ縁辺部に起因する地質からなる複数の地すべりの発生機構等の検討。豊牧地すべりに対する対策工効果判定及び概成判定のための検討。黒瀬地区における地下水低下手法の検討。	肘折カルテラ縁辺部に係る総合的な解析。豊牧地区での監視体制を脱し、肘折で類似した条件にある地すべりの対策や効果を検討。黒瀬地区における地下水低下手法の検討。	従来、防止区域ごとに実施してきた検討の視点を拡張し、肘折で類似した条件にある地すべりの対策や効果を検討する必要がある。	危険度判定(案)の作成と適応性確認。監視体制を脱した観測機器選定。地下水低下手法の立案。	類似した条件下における地すべり対策の計画や効果を検討し、直轄事業に反映させる。	地すべり危険度判定効果監視
東北地整	新庄河川 地下水観測手法と地すべりの長期安定性評価検討業務	H12～H17	全国の地すべり地	地下水観測、解析手法を現地調査ならびに既存資料から検討。	地すべりの長期安定性の評価に関する管理基準の検討。	地すべり概成のための管理基準値	地下水解析における問題点の抽出、事例における長期安定性評価。	適正な地下水観測手法と地すべりの長期安定性の評価指標。	地すべり管理基準
東北地整	新庄河川 朴木沢地区外環境調査	H13～	根子川 大井沢川 朴木沢川	砂防施設周辺(施工前、施工中)の環境モニタリング調査	動植物相調査および水質・底質調査。	砂防工事が周辺に与える影響や、既設砂防えん堤のスリット化による環境改善効果を把握し、十分に考慮しながら事業を進める必要がある。	各溪流において貴重種と指標種・環境緩和手法例を提示。スリット化による環境改善効果の考察。	自然環境に配慮した砂防事業の推進	環境砂防
東北地整	新庄河川 鮭川流域外環境調査	H15～	新庄河川事務 所管内 25溪流	環境モニタリング調査および基礎資料収集	魚介類・植物・陸上昆虫類等調査を実施。	砂防工事が周辺に与える影響をモニタリングし、その結果を十分に考慮しながら事業を進める必要がある。	各溪流において、貴重種と指標種を確認。	自然環境に配慮した砂防事業の推進	環境砂防
東北地整	新庄河川 郷土種の活用調査	H14～H17	山形県	郷土種の選定並びに種別調査、発芽率試験の実施。 既緑化施工地の実態調査と郷土種緑化工の目標設計	郷土種の選定並びに種別調査、発芽率試験の実施。 既緑化施工地の実態調査と郷土種緑化工の目標設計	生物多様性や在来景観に配慮した緑化工を施工するため。	種子の採取・精選方法の解明。 郷土種緑化の基準本数等基本的考え方を整理し目標群落の設計を行った。	郷土種の活用による緑化工の推進。	郷土種緑化
東北地整	新庄河川 鮭川流域外鳥類調査	H7～	新庄河川事務 所管内	砂防施設周辺(施工中、計画)のイヌワシ、クマタカの生息調査	行動圏調査及び営巣地調査の実施。また、影響予測、保全措置等の検討に資する検討会の開催。	砂防事業の推進とクマタカ、イヌワシの保全。	イヌワシ、クマタカの繁殖成否及び行動状況、行動圏等を把握。	イヌワシ・クマタカの生鳥に配慮した砂防事業の実施。	環境砂防 猛禽類
東北地整	新庄河川 大井沢既設堰堤群スリット化モデル実験	H15～H16	新庄河川事務 所管内	スリット堰堤における下流への影響検討にかかるモデル実験	モデル実験により一洪水時に影響を検討。さらに実験実証したハラメータにより中長期の河床変動を計算により開催。	スリット堰堤が与える土砂移動による下流への影響を検討する。	大井沢流域の河床変動状況を実験から確認した。また、寒河江川の河床変動状況を計算から確認した。	スリット堰堤計画時に影響を考慮した砂防事業の実施。	砂防構造物 スリット モデル実験 河床変動
東北地整	新庄河川 肘折火山砂防計画検討業務	H14～H16	山形県 大蔵村肘折地区	火山と共生する地域づくり計画の検討。 火山監視観測に関する検討。	過去の火山活動履歴、現況監視体制、地域特性や風土等の調査・整理。地域住民対象の啓発活動。	新たに活火山に選定された火山の監視観測体制の確立。地元住民に正しい知識の普及が必要であった。	「長期間噴火のない火山の火山砂防対策調査手法指針(案)」の策定。啓発資料(副読本)の作成。	火山と共生する地域づくりの推進、異変時の監視体制強化。	火山砂防

平成16年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	調査の種類 (平成16年度以前から行っている継続のものも含む)	調査方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
東北地整 新庄河川	最上川流域地すべり検討業務	H13～H16	最上川流域 赤川流域	平成16年度の調査の種類(平成16年度以前から行っている継続のものも含む) 最上川・赤川流域における新規直轄地すべり検討。	それぞれの流域における地すべり検討結果を時系列的に取りまとめ、対象箇所において現地調査を行い、地すべり対策の緊急性を検討す	地すべり地形が多く認められ、地すべりも発生しているため、地すべり発生機構を把握する必要がある。	地すべり対策の緊急性を整理。 新規直轄地すべり選定時の基礎資料作成。	直轄化にかかわる基本計画として活用。	地すべり
東北地整 新庄河川	後川自然環境整備計画画検討業務	H15～H16	鮭川流域 後川地区	サンバを頂点とした生態系の復元を目指す自然環境整備計画策定に資するための、地域住民の意識醸成及び自然環境調査	エコスクール開催と分対象事業地及び類似地域区の動植物調査、サンバの生息環境分析を実施。	地域住民主導による砂防事業と自然との共生。	地域の活動主体の発掘。 拠点整備に資する動植物情報の整理。 基本方針と運動した地域活動メニューの検討。	地域住民による砂防事業と自然との取り組みへの活用。	環境砂防
東北地整 新庄河川	砂防施設整備計画画検討業務	H15～H16	立谷沢川、銅山川、寒河江川、鮭川、赤川の各流域内に分布する24河川	中・長期の砂防施設整備計画(案)の検討	航空垂直写真を用いた微地形解析手法を用いて、流域の土砂移動計画を分析して、施設計画の位置・工種・規模などを決定。	効果的かつ効率的な砂防施設整備計画のため、砂防施設の必要性を明確にする。	対象流域において、40基の新規砂防施設配置計画と26基の既存砂防施設機能改善計画を提案。	効果的かつ効率的な砂防施設配置計画による事業の推進。	砂防計画
東北地整 新庄河川	砂防施設副次利用効果検討業務	H15～H16	立谷沢川流域 角川流域 銅山川流域 鮭川流域 寒河江川流域	管内の利用効果の高い砂防施設に関する副次利用計画(案)の策定	施設の現況、ニーズや類似の利用例等の調査。施設に応じた副次利用方法とメニューの検討。	砂防施設の持つ地域貢献の可能性を顕在化し、防災機能以外の幅広い有用性を示す。	管内の具体的な副次利用計画(案)の作成及び検討経緯に沿った副次利用手引き(案)の作成。	手引き(案)や事例集を基に任意の地域・施設に副次利用を展開。	砂防構造物 副次利用 地域貢献
東北地整 新庄河川	最上川・赤川水系雪崩対策検討業務	H16	立谷沢川流域 赤川流域 鮭川流域	工事用道路の雪崩安全対策	雪崩発生要因である斜面の植生と勾配を評価。雪崩実績調査とシミュレーション結果とを合わせて雪崩危険箇所を評価。積雪解析により現地立ち入り可否の判断指標を検討。	管内は冬期の積雪深が大きく、雪崩発生危険性が高い。冬期間の砂防工事業実施のために雪崩危険箇所を把握する必要がある。	雪崩の痕跡、雪崩発生の可能性がある斜面を多数確認。シミュレーションにより、雪崩の到達範囲を視覚的に表現することが出来た。	工事前、途中における安全計画の基礎資料、および工事中中止判断材料。	雪崩 台帳
東北地整 福島河川 道	阿武隈川水系新砂防基本計画検討業務	H12～16	荒川 須川 松川	対象流域における土砂処理方針の検討。	既存資料解析 数値解析	総合土砂管理計画の策定に必須の検討項目である。	新砂防基本計画における中間的とりまとめ。	新砂防基本計画の策定	流砂系 土砂管理 流出解析
東北地整 福島河川 道	砂防堰堤施設改良影響調査	H15～	荒川	既設コンクリート堰堤のスリット化による影響調査	河床変動計算をもとに周辺環境へ与える影響を予測	既設施設のスリット化による周辺環境への影響を把握する必要がある。	周辺環境に与える影響の予測とその対応策。	既存堰堤のスリット化による影響予測の基礎資料	砂防構造物
東北地整 岩手河川 道	岩手山周辺環境調査	H13～	岩手県 雫石町 西根町 滝沢村 松尾村	砂防施設配置を計画している渓流における稀少猛禽類の生息分布状況・繁殖状況調査	行動圏調査 営巣地調査 検討会	砂防事業実施にあたり、稀少猛禽類の生息状況・繁殖状況等を把握する。	各稀少猛禽類の行動圏・営巣地を把握	稀少猛禽類に配慮した砂防事業実施のための基礎資料	稀少猛禽類 共生

平成16年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	調査の種別 (平成16年度以前から行っている継続のものも含む)	調査方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
東北地整道	自然環境モニタリング調査	H13～	澄川第2砂防堰堤周辺(岩手県松尾村)	砂防事業実施箇所を対象に、自然環境の経年変化及び多様性を調査	経年変化調査 多様性調査	砂防施設を設置することによる自然環境の経年変化と施設周辺の多様性を把握する。	各項目種について調査票及び確認位置図を作成	自然環境に配慮した砂防事業実施のための基礎資料	自然環境
東北地整道	八幡平火山基本計画調査	H13～	八幡平	火山防災対策検討のため、噴火履歴及び地すべり末端部の概略を調査	噴火履歴調査 地すべりと水蒸気爆発の検討	火山防災対策の必要性を判断するため、噴火履歴を把握する。	火山防災対策の必要性を把握	火山防災計画 火山砂防	
東北地整道	降灰に起因した土石流危険度判定調査	H16	八幡平山系直轄区域(岩手県側)	既往文献資料を基に、ガリー分布図の作成及び基礎情報として整備すべき要因を整理	ガリー発達度検討 土壌浸透能調査 判定手法	降灰に起因した土石流危険度判定手法を構築することにより、土石流の発生しやすい渓流を抽出する。	ガリー分布図作成及び基礎情報整理	各渓流毎の整備優先度の基礎資料	火山砂防 土石流
東北地整道	癒しの渓流整備計画検討	H13～	八幡平山系	「癒し(福祉)」に着目した渓流活用、整備の在り方及び支援方法等の検討	有識者による懇談会	渓流を福祉、特に癒しに着目した活用方策について検討し「福祉の川づくり」を推進する。	渓流の活用方法(ハード、ソフト面)	癒しの渓流づくり基本理念、整備方針の作成(懇談会による提言)	砂防環境
東北地整道	貴重鳥類調査	H11～	八幡平山系	貴重鳥類生息、行動の把握	現地観察有識者による現地検討会	貴重鳥類への砂防事業による影響把握と配慮事項の把握を行う。	生息域、行動圏及び宮東地の把握を行う。	砂防事業 貴重鳥類	
東北地整道	八幡平山系砂防基本計画検討	H13～	八幡平山系	既存資料を用いた土石生産、流出、影響の検討及び砂防計画対象降雨規模の検討、短期的現象の検討	既存資料解析 数値解析(一次元河床変動計算)	対象現象を明確にした新砂防計画の立案を行う。	短期における計画規模の出水による土石生産、流出、影響の把握を行う。	新砂防基本計画の策定	砂防計画
東北地整道	火山防災情報提供検討	H16	八幡平山系	観光地における火山防災周知啓発、情報伝達方法の検討	既存資料収集 意識調査 取りまとめ	火山防災の周知、推進を行う。	観光地における火山防災情報伝達方法を検討	今後の火山防災を推進する上での基礎資料	火山砂防 砂防環境
関東地整	浅間山火山対策検討業務	H14～	群馬県 長野県	浅間山の火山活動に伴う土石管理に対する総合的な対策の検討	ハード対策の検討 ソフト対策の検討 新たな手法によるハザードマップの検討 噴火時の防災体制の検討	浅間山火山対策事業の基礎資料とするために必須となる。	火山噴火緊急減災対策の定義付け 緊急減災ハード対策の基本方針の設定 火山監視システム整備方針 リアルタイムハザードマップの改良	浅間山火山対策事業への反映	火山対策 緊急減災
関東地整	火山地域における砂防指定地検討業務	H13～	群馬県 長野県	浅間山火山対策における噴火・土石流出現象・対策時期等を動員した砂防指定地のあり方を検討する資料	既存資料収集整理 火山地域における砂防指定地調査マニュアル案の課題の抽出及び検討 指定手続きにおける課題の抽出及び検討	浅間山火山対策事業の基礎資料とするために必須となる。	他火山における砂防指定地状況等 火山地域における砂防指定地調査マニュアル案の改定 指定手続きの方法	浅間山火山対策事業への反映	砂防指定地 火山対策

平成16年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	調査の種類 (平成16年度以前から行っている継続のものも含む)	調査方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
関東地整	利根川水系 砂防	H14～	利根川水系 様名川流域	砂防施設設置による自然環境(動物界・植物界)への影響を定量的に把握	既往資料収集整理 現地調査 ヒアリング調査	自然環境の保全措置等に必須なデータ	多様性調査による生物種の把握	経年変化調査 種の特定	環境砂防 環境調査
関東地整	利根川水系 砂防	H13～	利根川水系 様名川流域	砂防施設設置による自然環境(動物界・植物界)への影響を定量的に把握	現地調査 ヒアリング調査	自然環境の保全措置等に必須なデータ	多様性調査による生物種の把握	経年変化調査 種の特定	環境砂防 環境調査
関東地整	利根川水系 砂防	H15～	利根川水系砂 防管内流域(貯 水池上流)	新砂防基本計画(貯水池上流)の検討	一部流域について数値シミュレーションによる過去の土砂移動現象の分析 計画シナリオの作成 計画対象現象及び計画諸元の設定 土砂処理方針の検討	砂防基本計画策定に必須となる。	基本計画策定に向けた基礎資料 一部流域における土砂処理方針	砂防基本計画の策 定に活用	砂防計画
関東地整	利根川水系 砂防	H15～	利根川水系 片品川流域	今後の砂防計画に取り込む土砂移動現象の検討	対象流域における土砂生産・流出の実態整理 積雪地域の土砂生産要因の抽出 土砂生産・流出量計測手法の検討	積雪挙動による土砂移動現象を今後の砂防計画に取り込むための基礎資料とする。	雪崩発生危険箇所図 対象流域における積雪に起因する土砂生産・流出実態とその誘因	砂防基本計画の策 定に活用	砂防計画
関東地整	利根川水系 砂防	H14～	群馬県	管内における歴史的砂防施設の保存にに向けた補修・管理方法の検討	登録有形文化財施設の抽出 登録に向けた資料の作成	登録有形文化財の登録に向けた基礎資料とする。	登録有形文化財への資料作成 歴史的砂防施設の維持・補修・点検マニュアルの作成	歴史的砂防施設の維持・補修・点検に活用	砂防事業 歴史
関東地整	利根川水系 砂防	H16年度(5 年に1回)	利根川水系砂 防管内流域	管内における植物の生育状況調査(水と緑の溪流調査)	資料収集・聞き取り調査を行い、併せて植物の分布状況を把握するため現地調査を実施す	自然環境の保全措置等に必須のデータ	調査地点における植物の生育状況把握	環境に配慮した砂防施設計画の基礎資料	環境砂防 環境調査
関東地整	利根川水系 砂防	H3～	群馬県多野郡 鬼石町謙原地 区	護原地すべりの対策工検討 地下水調査 安定解析 対策工の効果判定	現地調査 資料収集整理 地下水解析 安定解析	護原地すべり対策事業に必須となる。	地下水解析 安定解析 効果判定 対策工検討	護原地すべり対策事業への反映	地すべり
関東地整	日光砂防	H16	日光市久次良 先	過去の出水により流出した「大日堂」再建に向け、再検地(大日堂跡地)の河岸の安定を目的とした景観配慮の護岸工設計	測量 流路工設計委員会資料作成 パンフレット作成	大日堂再建に向けて委員会が発足され、委員会協議事項についても実施される。	景観に配慮した護岸工の配置や形状及びその他施設等について検討される。	本区域を対象とした「公共工事における景観アセスメントシステム」による委員会実地実施され	施設設計 景観形成
関東地整	日光砂防	H13～	鬼怒川流域	土砂移動実態及び土砂管理上の問題をふまえて将来予測と理想的な土砂動態に関する基礎的な検討を行う。	土砂移動の再整理 再現計算 現状整備状況での将来予測 土砂動態の比較検討	土砂移動に関する問題を把握し、鬼怒川総合土砂管理計画を策定する。	現状の動態及び砂防施設・ダムなどの施設がない場合の将来30年間の予測計算を行い砂防施設・ダムなどの影響を検討する。	鬼怒川総合土砂管理計画の策定	砂防計画 土砂計画

平成16年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	調査の種別 (平成16年度以前から行っている継続のものも含む)	調査方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
関東地整	日光砂防 貯水池上流砂防 基本計画検討業務	H15～	鬼怒川流域	貯水池を含む流域の計画基準 点等を検討し、土砂移動実績 を考慮した河床変動計算を行 い、計画シナリオの検討を行 う。	計画区分の検討 計画基準点等の検討 シナリオの設定・抽出	貯水池上流を対象とし て、過去の土砂移動実 績に基づき、土砂移動 の時間的・空間的変化 や土砂の質をふまえ た、新たな砂防基本計 画を策定する。	計画シナリオの評価 今後の検討	砂防基本計画書 (案)、整備計画書 (案)作成の基礎資 料とする。	砂防計画 土砂流出
関東地整	日光砂防 大谷川砂防基本 計画検討業務	H14～	大谷川流域	大谷川砂防基本計画(案)を修 正するとともに大谷川流域で の施設配置計画の検討を行 う。	資料収集整理 追加シナリオの検討 追加シナリオの数値計 算 砂防基本計画の修正検 討 基準点下流の河床変動 計算 施設配置計画の基本方 針検討 施設配置計画(案)の検 討 砂防基本計画書(案)の 作成	新たな砂防基本計画を 策定する基礎資料にす る。	諸元を設定して施設 配置計画を検討、大 田に河砂防基本計画 (案)を修正する。	新たな砂防基本計 画を策定する基礎 資料にする。	砂防計画
関東地整	日光砂防 環境モニタリング 調査	H16～	塩谷郡栗山村	環境モニタリング調査	自然環境調査(魚介 類、底生動物調査、植 物調査、鳥類調査、両 生類・爬虫類・哺乳類調 査)を行い、砂防施設の 設置前、施工中、設置 後の自然環境への影響 (効果)を把握する。	砂防事業による環境へ の影響(効果)を評価す る。	モニタリング種の影響 要因、影響・変化予想 及びそれに対する解 析事項を検討した。	今後の砂防事業に 活用する。	環境調査
関東地整	日光砂防 大谷川流域環境モ ニタリング調査	H14～	大谷川流域	環境モニタリング調査 鳥類の営巣崖の保全に関する 検討	過年度の調査成果から 選定したモニタリング種 について追跡調査を行 うとともに、環境評価項 目を検討する。 その他、床固工直上の 鳥類の営巣崖の取り扱 いについて検討を行い 今後の整備計画策定の 基礎資料にする。	大谷川流域における砂 防議場の影響を評価す る。また、床固工直上の 鳥類の営巣崖の取り扱 いについて検討を行い 今後の整備計画策定の 基礎資料にする。	モニタリング種の影響 要因 影響・変化予想及びそ れに対する解析事項 を検討した。また、鳥 類の営巣崖の状況把 握ならびに治水の観 点等から営巣崖の取 り扱いについて検討を 行った。	今後の砂防事業に 活用する。また、鳥 類の営巣崖の保全 に配慮した整備計 画策定のための基 礎資料とする。	環境調査

平成16年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	調査の種別 (平成16年度以前から行っている継続のものも含む)	調査方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
関東地整	日光砂防 大事沢第5砂防堰堤ソイルセメント適用検討業務	H16	塩谷郡栗山村川俣地先	砂防ソイルセメントの導入方法 資材搬入等の仮設計画の検討 モニタリング調査計画の検討	既往資料の収集・整理 現地発生土砂の活用可能性の検討 配合試験 施設形状の検討 施工計画の立案 施工計画の総合せ	砂防堰堤工事におけるコスト削減対策として検討	大事沢第5砂防堰堤へのソイルセメントの適用を確立できた。またモニタリングの時期・方法についても検討も行った。	今後の砂防事業におけるコスト削減及び工期短縮に活用	砂防計画
関東地整	日光砂防 大事沢山腹工詳細設計	H17	塩谷郡栗山村川俣地先	応用測量(地上レーザー計測) 山腹工詳細設計 モニタリング計画の検討	崩壊状況調査 計画生産土砂量の算定 土砂整備率の算定 山腹工の工法の検討 施工・仮設計画の検討 施工優先順位の検討 全体工程計画 総合せ	冬季の凍結融解や豪雨、長雨による流水の作用、岩盤・表層土砂の風化作用による崩壊範囲の拡大のため、早急な対策の必要がある。	大事沢の崩壊地対策として、崩壊地の測量を行い、併せて山腹工の詳細設計を行った。追加事業として、大事沢及び大笹山腹工のモニタリング計画の検討も行った。	山腹工モニタリング調査の計画	砂防計画
関東地整	日光砂防 男鹿川流域費用対効果検討業務	H16	男鹿川流域	男鹿川における砂防事業の評価について検討	便益計測・修正、説明資料作成、河床変動計算を行う。	事業の規模が大きく、多額の費用を要し、実施機関が長期にわたる場合が多いことから、社会経済情勢の変化等を踏まえた事業の見直しが必要となっている。	男鹿川流域における砂防計画を、よりわかりやすく説明を行うための資料を作成する。	砂防計画の説明資料	砂防事業
関東地整	日光砂防 稻荷川歴史的砂防施設保存・活用方針検討業務	H14~	日光市日光地先	稻荷川の歴史的砂防施設の保存・活用方針に関する検討、全国の歴史的砂防施設における活用のあり方の整理、大日堂周辺の景観整備に関する検討	登録有形文化財の報酬方法の検討、関係機関による歴史的砂防施設の活用検討会を開催し、稻荷川歴史的砂防施設活用基本計画(案)を策定する。また、景観や文化的景観制度の動向を踏まえ、活用事例の収集分析を行いながら検討する。	良好な景観形成の促進が国の重要課題として位置づけられている。また、老朽化に伴い堰堤の破損が進行しているため、補修が必要である。	登録有形文化財候補施設について、その歴史性、技術的価値などを登録に向けて検討補修などの必要性が高い登録有形文化施設については、具体的な補修方法を検討し、稻荷川歴史的砂防施設活用基本計画(案)策定に向けた検討施設設計に對し景観形成上の指針を与え	歴史的砂防施設を含めた稻荷川流域における景観形成事業計画の基礎資料とする。	景観形成補修計画
関東地整	渡良瀬川河川 水と緑の溪流づくり(鳥類外)調査検討業務	H13~H17	当事務所砂防管内	砂防事業の対象流域における自然環境特性の把握及び砂防施設による自然環境への影響調査	調査地区10~11箇所における一般調査(鳥類、底生動物類、哺乳類)	生態系に配慮し、溪流を貴重な財産として次世代に受け継ぐにふさわしい保全、整備を図っていくための基礎資料とす	調査地区10~11箇所における鳥類、底生動物類、哺乳類の生育状況の把握	環境に配慮した砂防施設計画の基礎資料とする。	環境砂防

平成16年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	調査の種別 (平成16年度以前から行っている継続のものも含む)	調査方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
関東地整	渡良瀬川流域土砂移動検討業務	H9～H17	当事務所砂防管内	河道特性・河床変動状況の把握、貯水ダムの流入土砂量の把握による土砂移動の把握	数値計算モデルの精度向上、計画シナリオの再検討、計画対象現象の設定、現況施設効果の検討	上下流一貫した土砂の管理を行うための基礎資料とする。	草木ダム上流区間ににおける計画シナリオおよび計画対象現象の設定、現況施設効果の効果検証	上下流一貫の土砂管理	砂防計画 土砂計画
関東地整	渡良瀬川流域降雨特性調査業務	H16	当事務所砂防管内	当事務所管内の雨量観測情報をもとに、流域の地形的要因や台風等の気象擾乱要因別の降雨状況を調査分析し、降雨特性の把握、砂防情報システムの構築に向けた検討	データ収集・整理、降雨特性の検討、降雨予測情報の利用検討、土砂災害警戒支援システムの設計	近年多発している集中豪雨等による土砂災害を防止するため、流域の降雨特性を踏まえた砂防情報システムの構築に向けた基礎資料とする。	流域内降雨特性の把握、基準雨量への適用と有効性の検討、テレメータ雨量・オンライン気象情報を結合した土砂災害情報の市町村伝達システムの設置	土砂災害を防止するため、雨量予測情報を利用した砂防構築に向けた基礎資料とする。	水文 砂防情報
関東地整	松木地区等環境モニタリング計画検討業務	H16	当事務所砂防管内	松木山腹カイドライン(案)で検討された山腹工のモニタリング計画の策定及び調査	検討したモニタリング計画に基づき、松木地区、鳥居川地区においてモニタリング調査を行う。	足尾地区の荒廃地において土砂流出防止の根本的な対策として、山腹工の整備が急がれている。	松木山腹工モニタリング計画の策定、松木地区・鳥居川地区でのモニタリングの実施	松木山腹工の施工箇所における緑化工法再検討を行うための基礎資料とする。	砂防計画 緑化
関東地整	渡良瀬川花輪地区床固群計画検討業務	H16	群馬県勢多郡東村地先	渡良瀬川上流部の花輪地区における「PII」による整備の方向性の検討	専門家の意見聴取、現地調査、委員会形式・地元住民懇談会による意見の取りまとめ。	河床低下傾向にある渡良瀬川において、下流河道に対して安全でかつ効果的に土砂を供給する施設が必要となっている。	花輪地区における床固群施設設計の基礎資料とする。	源頭部から河口にいたる水系一貫した観点から土砂管理事業に活用。	砂防構造物
関東地整	富士川流域土砂管理総合計画検討業務	H11～H16	富士川流域	総合砂防計画	追加調査結果から得た新たな知見に基づく課題を整理し、流域全体の土砂管理計画案の精度向上を図るとともに、砂防領域における具体的な対策案と効果算定手法について検討する。さらに、総合土砂管理計画の精度向上に資するモニタリング計画を検討する。	水系全体としての適正な土砂移動のバランスを回復し、かつ効果的な対応を図ることを目的とした水系の一貫した総合土砂管理が望まれている。	土砂管理上の課題を抽出した。富士川流砂系における土砂管理計画(案)の一部改訂。	源頭部から河口にいたる水系一貫した観点から土砂管理事業に活用。	土砂計画 砂防計画 施設設計
関東地整	富士川砂防	H11～H17	富士川砂防事 務所管内	砂防基本計画検討調査	一次元河床変動計算モデルの見直しを行う。計画シナリオの追加検討を行い、計画対象現象の妥当性を評価する。以上の結果を踏まえ、基本計画書の精度向上を検討する。	新基本計画では土砂移動実績と時間的・空間的な土砂の分布を踏まえた、地域住民にわかりやすい砂防基本計画を作成する。	一次元河床変動計算モデルの見直し等を行う。富士川流域砂防基本計画書(案)の策定。	今後の砂防基本計画に活用。	砂防計画 基本計画